

分野	教育	施策	文化・スポーツ		
分野計画名称	文化振興計画			行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	1 誰もが文化・スポーツに触れ合える機会づくり				
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	22.7%(令和2年度)	27.5%	38.6%	32.3%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	19,081人	13,052人	16,958人	17,860人
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	39.8%(令和2年度)	30.9%	41.0%	42.1%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	72,300人	56,147人	79,783人	77,383人
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	84.0%(令和2年度)	92.9%	92.5%	94.7%

中項目	1 時代の変化に対応した文化に触れる機会づくり	分野計画参照ページ	P12
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・団体主催や市との共催イベントを開催し、参加者数や来場者数等は以下のとおりであった。 ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、50人(前年度比-11人)が出演した。来場者数は240人であった(前年度比-30人)。 ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、18組(前年度比+5組)が出演した。来場者数は約300人(前年度比±0人)であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、242人(前年度比+10人)が出席・出演した。来場者数は約800人(前年度比±0人)であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、7組が出演した。来場者数は約100人であった。(前年度比-100人) ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、14組(前年度比-2組)が出演した。来場者数は約170人(前年度比-10人)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の来場者数を下回るイベントが多かった。特にわがままコンサートについては、雨の影響で観客数は伸びなかった。来場者用の駐車場がなく、自転車・徒歩の方が多いため雨の影響が特に大きかったと考える。引き続き、イベントナビや市のラインなどのツールも活用し開催周知の促進に努める。 	
音楽活動推進事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールで摂津音楽祭(リトルカメリアコンクール)を開催(予選を9月に本選を12月)し、予選に参加した36組(前年度比-16組)のうち、18組(前年度比±0組)が本選に参加した。来場者は延べ271人(前年度比-94人)であった。また、本選の審査待ち時間にチャレンジコンサートを実施し、7人(前年度比±0人)が参加した。 ・12~2月にリトルカメリアミニコンサートを小学校9校(前年度比+3校)で実施し、延べ22人(前年度比+11人)が出演した。鑑賞者数は延べ1,310人(前年度比+264人)であった。 ・12月に文化ホールでフレッシュコンサートを開催し、5人(前年度比±0人)が出演した。来場者数は約220人(前年度比+20人)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津音楽祭(リトルカメリアコンクール)の予選参加者数が年々減っている。要因としては、初開催から40年以上が経過し、コンクールの実施方法やあり方が現在のニーズに沿わなくなってきたことなどが考えられる。 ・リトルカメリアミニコンサートについては、小学校10校中9校とほとんどの学校で開催できた。こども園3園、中学校5校についても案内をしているが、開催に結びつかない。また、派遣謝礼の金額が交通費程度であることも影響してか、講師に来てもらうことが年々困難になっているため、事業の実施方法について検討する必要がある。 	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・9件(前年度比+1件)のイベントを開催し、合計で3,616人(前年度比+355人)が来場した。 1能登地震復興支援チャリティ上映会(261人) 2真奈尚子35thコンサート～よみがえる摂津慕情～(272人) 3摂津ちびっこ劇団「ひなどり」発表会(311人) 4稻垣潤一AcousticLIVE2024(438人) 5吉本新喜劇(914人) 6オペラ「カルメン」(393人) 7PUFFYコンサート(412人) 8第38回リトルカメリア推薦コンサート(300人) 9ジャッキー7(共催事業)(315人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、トレンドにアンテナを張り、魅力的なイベントを開催することで、多くの市民が気軽に文化に触れられる機会を提供していく。 ・入場料について、事業内容に見合った金額を設定するとともに、市外と市内の価格を変えるなど、市内の来場者数増加のための取組が必要である。 	

<p>演劇・芸能文化活動推進事業 文化スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ちびっこ劇団「ひなどり」の加入者数は新1年生2人(前々年度比-6人)となつた。 9月15日に文化ホールにてちびっこ劇団「ひなどり」の演劇発表会を行い、311人(前年度比+18人)が来場した。 3月23日に文化ホールにて行われた摂津市民演劇祭にちびっこ劇団「ひなどり」が参加し、330人(前年度比+10人)を動員した。 文化ホールで市民演劇祭を開催し、6団体(前年度比±0団体)が出場した。来場者は860人(前年度比+380人)であった。 大阪人間科学大学の学生の協力により、市民演劇祭の司会を担つてもらつた。 	<ul style="list-style-type: none"> ひなどりについて、令和5年度は新1年生と新2年生を対象に加入案内を行つていたが、令和6年度は新1年生のみを対象に行つたことで、加入者数が大幅に減少した。 ひなどりが令和6年度を以つて終了するにあたり、チラシなどで最後の上演となることを契機として観劇を呼びかけたことから、摂津市民演劇祭の動員数が増加した。 ひなどりについて、指導者が高齢のため今後指導することが難しい旨の申し出があつたこと、後継者の選定が困難だったことから終了することとなつた。 ひなどりの代替事業として、文化ホールで実施する参加型のイベントなどを拡充し、引き続き子どもたちをはじめとした市民が文化に触れ合える時代に合つた機会作りを提供していく。 演劇祭について、摂津市演劇協会の所属団体以外で、一般団体の参加が2団体あつた。過去にも一般団体が演劇祭参加をきっかけに演劇協会へ加入し、演劇振興に繋がつたことがある。演劇祭参加団体を増やし演劇振興に繋げるため、新たな手法を検討する必要がある(例:近隣市のホールに募集要項を配架してもらう等)。 演劇祭について、来場者が前年度比で大幅増加した要因は、摂津市ちびっこ劇団「ひなどり」と演劇チーム「BR」の最終上演によるものであると考えられる。 演劇祭について、令和7年度以降は摂津市ちびっこ劇団「ひなどり」と演劇チーム「BR」2団体の解散により、来場者が減少することが予想されるため、来場者増加に向けた効果的な手法を検討する必要がある。
<p>公民館講座開催事業 生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市立公民館において、文化・芸術をテーマにした講座(コンサートや文学講座等)を延べ72回(前年度比+26回)開催し、延べ1,073人(前年度比+249人)が受講した。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽コンサートやライブペインティング等を鑑賞する講座の参加者数が多い傾向にある。 引き続き、集客につながる内容の工夫や見直しを行い、文化に触れる機会を提供する講座を実施する。
<p>美術活動推進事業 文化スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 10月10日~13日の間に、コミュニティプラザで、市内大学の保育学科の学生と共同でこども展覧会を開催し、1,144点(前年度比+17点)の出展があり、1,391人(前年度比-295人)が来場した。 体験教室ではサコッシュづくりを継続して実施し、80名参加した(前年度比±0人)。 10月に「摂津市美術展」を開催し、作品出品数は241件(前年度比-10件)、入場者数は1,086人(前年度比+10人)であった。 4月には摂津市美術展の審査員を務める、摂津市美術協会の会員が作品を発表する「美術協会展」を開催し、作品出品数は50件(前年度-8件)、入場者数は240人であった。 	<ul style="list-style-type: none"> こども展について、令和5年度に引き続き、個人の出展においてLoGoフォームからの申し込みを可能としたこと、令和6年度よりQRコードを活用した案内文書の送付と電話による案内も実施したことで、出展数の増加につながつた。 来場者減少の要因は、イベントの初日が小学校の運動会と日程かぶつたことによるものである。 多くの市民が文化芸術活動に参加できる環境の整備に努める。「市美術展」や「美術協会展」の開催時にはより多くの市民に知つてもらえるよう、イベントナビへの掲載や、直近で開催されるイベントでのチラシ配布、地域掲示板へのポスター掲示等による周知方法を検討する。
<p>コミュニティプラザ管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ロビーコンサートでは、市民が17絃箏の演奏等の文化に触れる機会を提供した。 エントランスにおいて市や団体による絵画展や各種展示を開催した。 広報紙や各施設のホームページに加え、SNSで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が主体となり年3回実施しているロビーコンサートは観客が多く好評で、市民の方々に文化に触れる機会を提供するため継続する。 エントランスにおいて絵画展や各種展示は、文化や社会啓発の機会を提供する場として、今後も関係団体と協力しながら継続して実施していく。 SNSは定期的に更新できていることから、引き続き継続して投稿を行うことで、フォロワーが増えることを期待している。 市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。

コミュニティセンター管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体と協力してエントランス提案イベントによる音楽会を行ったり、子供向けのお話会を行うなど、地域の人々が文化に触れる機会を提供了。 新たに別府地域の団体である〈別府つどい場〉と『子どもアート体験イベント』、〈東別府新子ども会〉及び〈そらまめ〉(エントランス提案者)と『コミセンで真冬のきもだめし』等の企画イベントを行った。 広報紙や各施設のホームページに加え、SNSの立上げを行った。 広報紙や施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々が文化に触れる機会を提供するため、今後も市民団体等と協力しながら、エントランス提案イベントの実施・イベント主催の手助けにより貢献したい。 SNSを立上げたことにより、イベント情報の発信がよりスムーズになった。 市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 旧市民サービスコーナーのスペースに、高齢者が手作りした雑貨やこどもが描いた絵を窓際に飾ることで、集客のきっかけづくりを行った。 広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年齢層の利用促進や、親子で参加できる自主事業の企画を指定管理者と協力して取り組む。 市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。 たそがれコンサート等の地域イベントへの参画を継続することで、施設をPRしていく。
公民館まつり事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の利用団体(公民館登録クラブ等)の日頃の活動の成果を展示・発表する機会として、全ての公民館において公民館まつりを開催した。 各公民館まつりの展示・発表団体数は、次のとおりであった。 ■味生公民館23団体(前年度比-1団体) ■鳥飼東公民館19団体(前年度比±0団体) ■千里丘公民館16団体(前年度比+1団体) ■安威川公民館25団体(前年度比-1団体) ■新鳥飼公民館27団体(前年度比+1団体) 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の公民館まつりと比べ、展示・発表する団体数は概ね前年通りである。 公民館まつり実行委員会や公民館利用団体と連携し、日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである公民館まつりを引き続き実施する。

中項目	2 生涯にわたって参加できるスポーツ活動の推進	分野計画参照ページ	P14
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室を307回(前年度比-6回)実施し、延べ6,462人(前年度比+358人)が参加した。 9~12月に全11地区の内、8地区が各小学校を会場として地区市民体育祭を開催し、延べ7,333人が参加した(前年度比+3,063人)。 スポーツ推進委員を中心に、ニュースポーツのつどいとして大会等を実施し、参加者は以下のとおりであった。 ■スティックリング大会56人(前年度比-23人) ■ボッチャ大会64人(前年度比-21人) ■ゲートゴルフ大会62人(前年度比-4人) ■ニュースポーツ体験会(3回)計82人(前年度比-23人) 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室の回数が減った要因は、教室の集客が著しく悪く閉会したものがあったためである。人数が増えた要因としては、チラシ配布によってサッカー教室の参加者が増えたことがあげられる。 地区市民体育祭について、各地区への開催の可否の調査の際に開催の支障となっている課題等があれば記入いただくよう様式を変更し、課題の把握に努めている。多くは、高齢化や実行委員のなり手がないなどの理由である。他地区の事例や市の貸出備品を含めた競技の紹介や助言などをを行いながら、全地区での開催を目指して支援していく。 市民ニュースポーツのつどいへの参加人数は昨年に比べて減少となった。考察として、コロナ禍が明けたことで市の事業以外にも様々なイベントが市中で開催されたことにより、イベント参加の人数が分散してしまったと推測される。 全国的な人口減少の局面を迎えており、限られた人のみでなく、誰でも楽しめるスポーツの機会提供を行っていく。 	

健康せつつ21推進事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・体操の動画を継続的にホームページに公開するだけでなく、ホームページを見ることができない方や地域の方が講座等で使用するためにDVD・CDを24枚配布した。 ・地域ごとに実施している高齢者が集うリハサロンでフレイルについて講話を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4部作DVD・CDは年々配布数が減少している。(R4=60枚、R5=46枚、R6=24枚、貸出開始したH29=514枚)DVD・CDなどの、ディスクを使用する人が減少していることも要因であると考える。体操動画の一部については、市ホームページで公開しており、わくわくやる気体操の年間動画視聴数は、配信を開始した令和2年度は525回であったが、令和6年度は940回に増えている。引き続き、二次元コードを使用した周知媒体の作成など、時代に合った方法で様々な年代に対して周知していく。 ・リハサロンに参加している者はフレイルの認知度が高いことが分かった。引き続き、フレイル予防について周知していく。
まちごとフィットネスヘルシータウン事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・うきうきせつつウォーキングを5回(前年度比-3回)開催した。参加者は273人(前年度比-256)であった。 ・熱中症予防のため、7・8・9月のウォーキングは休止した。休止期間のイベントとして、9月に体育館で「うきうきせつつ屋内ウォーキング」を実施し、61人が参加した。 ・歩くことでポイントを獲得し、ポイントに応じて、参加賞や抽選で商品が当たる健幸マイレージを引き続き実施し、新規参加(登録)者が338人(前年度比-267人)となり、健康マイレージの事業参加者は合計2,674人となった。 ・6か月以上のデータ未送信者(登録者のうち健幸マイレージを活用していない者等)を抽出し、継続意向の案内はがきを送付した。退会を希望された者、継続意向の返信がなかった287人は規約にのつとり、年度末に退会手続を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うきうきせつつウォーキングは、悪天候で開催回数が減少したため、前年度から参加者数が減少している。 ・熱中症予防のため、令和7年度以降も7・8・9月は屋外ウォーキングは休止する。令和6年9月に実施した体育館でのイベント参加者から、好評であったため、休止期間に実施できる健康づくりについて、引き続き検討していく。 ・10か所のウォーキングコース及び108か所の健康遊具の認知度向上や、利用促進に取り組む。 ・若年世代の参加者が少ない状況である。若年世代の参加者はアプリ利用者が多いが、歩数データ送信率が低い状況であり、プッシュ型の通知等、状況改善に向けて取り組んでいく。
総合型クラブ支援事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ教室の開催にあたり必要な会場について、優先的に先押さえを実施して教室運営を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き総合型地域スポーツクラブの教室事業、イベント事業、受託事業等について、会場確保、広報等様々な支援の可能性を検討していく。

中項目	3 高齢者、障害者、子育て世代等に対する機会の拡充	分野計画参照ページ	P16
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績		分析・考察
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール入口からロビーへ続くスロープの幅が車椅子の利用者が通るには狭かったため、工事を行い拡張した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き施設利用者アンケート等を踏まえ、ソフト・ハードの両面で、誰もが利用しやすい施設となるよう配慮や対策を行っていく。
市立ふれあいの里運営事業 障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者・老人福祉センターにおいて、障害者や高齢者を対象とした事業を実施した。 ■利用者数：主催事業735人(前年度比+8人) 同好会3,121人(前年度比+10人) 個人・団体1,043人(前年度比-81人) ・身体障害者・老人福祉センターの主催事業として、障害者や高齢者を対象に健康体操やカラオケ教室等を実施し、合計71人(前年度比+4人)が受講した。 ・施設の公式LINEアカウント(配信83回/年)や施設ホームページ(更新43回/年)で、行事予定や参加募集のお知らせ、利用者の活動風景写真掲載などを行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信だけでなく、利用者の利用満足度を上げるために、受講後にアンケート調査を実施している。

老人クラブ活動事業 高齢介護課	○地城市民活動に従事している老人クラブ連合会役員と連携し、以下のとおり団体運営を補助した。 ・役員会における協議やスポーツ大会など、感染症対策を講じながら計画通り事業を実施した。 ・春と秋にグラウンドゴルフ大会を開催し、春は108人(前年度比+1人)、秋は87人(前年度比-20人)が参加した。 ・部会活動を除く、書類作成と書類管理、連絡調整を行った。 ・会員数は1,679人(前年度比-267人)、クラブ数は42クラブ(前年度比-5クラブ)と減少している。 ・12月号広報にて、市老人クラブ連合会の活動内容等について周知した。	・会員数の減少や会員の高齢化等で、活動規模を縮小している取組もあるため、積極的な老人クラブ活動が行えるよう、事務局としてサポートとともに、必要に応じて情報提供する。 ・役員のなり手不足から、部会の統廃合があったが、事業内容を再検討し、効率よくこれまでと同規模の事業を実施できた。 ・モルック等のニュースポーツ体験会を企画し、老人クラブ活動のPRを通じて新規会員獲得につなげる。 ・新規会員の確保に向けた広報掲載等による情報発信のほか、老人クラブが行う新規加入に資する取組を支援する。
障害者福祉関係団体補助事業 障害福祉課	・障害者団体に対し、文化交流や健康増進などの各種活動に補助金等を交付した。	・引き続き、各種活動等の企画や周知により、障害のある方が参加しやすい環境をつくり、障害者の社会参加を促進する必要がある。
国際交流事業 自治振興課	・揖津市国際交流協会において国際交流協会活動報告紙を発行した。 ■SAIEレポート(年間報告) ：発行部数1,200部 ■かわら版 ：発行部数3,600枚・発行回数4回／年	・国際交流協会活動報告紙は活動内容が分かりやすく整理されていることから、今後も継続して発行を行う必要がある。 ・国際交流協会活動報告紙に加え、市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用し、市民に周知を図っていく。
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・子ども、高齢者、障害者も含め誰もが簡単に楽しめるスポーツであるボッチャの大会を昨年に引き続き実施。64人(前年度比-21人)が参加した。参加者には、小学生、75歳以上の高齢者、障害をお持ちの方がおり、その全員が同じルールで同じ競技を楽しむことができ、パラスポーツとして幅広い対象者が参加した。	・今年も2名の小学生が参加していた。大会では、大人と「真剣勝負」ができる、子供にとって貴重な機会を提供することができた。 ・障害をお持ちの方も、健常者と同じチームに入つてもらって競技を楽しむことができた。 ・幅広い対象者を集めながら、普段からスポーツを楽しんでいる方以外にも、スポーツをする機会を増やしていく。

分野	教育	施策	文化・スポーツ		
分野計画名称	文化振興計画			行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	2 活動者・団体が交流・協働するための仕組みづくり				
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	22.7%(令和2年度)	27.5%	38.6%	32.3%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	19,081人	13,052人	16,958人	17,860人
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	39.8%(令和2年度)	30.9%	41.0%	42.1%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	72,300人	56,147人	79,783人	77,383人
KPI (指標)	文化スポーツ課所管団体の活動において、直近1年間で研修会等を実施した回数【★】				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	20回	22回	29回	21回
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	84.0%(令和2年度)	92.9%	92.5%	94.7%

中項目	1 活動者・団体の交流支援		分野計画参照ページ	P18
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
文化振興事業 文化スポーツ課	・文化振興計画推進審議会において、活動団体や学識経験者等が交流し、市内の文化・スポーツ活動の推進に向けて意見交換をした。	・第3期摂津市文化振興計画で基本目標として掲げている「誰もが文化・スポーツに触れ合える機会づくり」「活動者・団体が交流・協働するための仕組みづくり」「文化・スポーツの振興を支える人づくり」を達成するため、文化・スポーツにおいての新たな取り組み案や、現在行っている事業における改善案を審議会委員に諮った。今後は、とりまとめた内容をもとに文化振興施策を検討・推進していく。		
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	・三島地区ふれあいスポーツ交流大会(令和6年度は吹田市にて実施)で実施されたスリーダッヂビーチボールでは三島地区から参加する市民の方とスポーツを通じて交流した。	・コロナ禍が明け、スポーツを通して市をまたいで市民同士が交流できる機会が創出できるようになり、市民も広く交流を求めるマインドが醸成されてきている。 ・令和7年度は摂津市が三島地区交流会の幹事市となるため、市民への大会周知と併せて、市外の活動者・団体と交流できる機会があることを周知していく。		
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・4月から2月にかけて市長杯総合スポーツ大会を開催し、14種目の競技、延べ2,108人(前年度比+61人)が参加した。	・令和6年度より市外の方の参加を認める運用へと変更したことにより、参加者数が増加したと考えられる。		

中項目	2 市民参画による協働の推進		分野計画参照ページ	P19
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
文化振興事業 文化スポーツ課	・文化振興計画推進審議会において、活動団体や学識経験者等が交流し、市内の文化・スポーツ活動の推進に向けて意見交換をした。 ・上記のつながりで、演劇協会が主管する市民演劇祭の司会者として、大阪人間科学大学の学生を紹介してもらい事業への協力を得た。	・第3期摂津市文化振興計画で基本目標として掲げている「誰もが文化・スポーツに触れ合える機会づくり」「活動者・団体が交流・協働するための仕組みづくり」「文化・スポーツの振興を支える人づくり」を達成するため、文化・スポーツにおいての新たな取り組み案や、現在行っている事業における改善案を審議会委員に諮った。今後は、とりまとめた内容をもとに文化振興施策を検討・推進していく。		
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・2月に開催した摂津ふれあいマラソン大会では、大会運営補助における市民ボランティアの公募を行い、計24人(前年度比+16人)の市民が参加した。	・令和6年度より募集要項にボランティア募集を掲載したことが、ボランティア参加人数が増えた要因であると思われる。 ・市内活動団体(老人クラブ等)への周知活動に努め、参加人数を向上に向け、検討をしていく。		
公民館まつり事業 生涯学習課	・公民館の利用団体(公民館登録クラブ等)の日頃の活動の成果を展示・発表する機会として、全ての公民館において公民館まつりを開催した。 ・各公民館まつりの展示・発表団体数は、次のとおりであった。 ■味生公民館23団体(前年度比-1団体) ■鳥飼東公民館19団体(前年度比±0団体) ■千里丘公民館16団体(前年度比+1団体) ■安威川公民館25団体(前年度比-1団体) ■新鳥飼公民館27団体(前年度比+1団体)	・前年度の公民館まつりと比べ、展示・発表する団体数は概ね前年通りである。 ・公民館まつり実行委員会や公民館利用団体と連携し、日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである公民館まつりを引き続き実施する。		

分野	教育	施策	文化・スポーツ		
分野計画名称	文化振興計画			行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	3 文化・スポーツの振興を支える人づくり				
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	22.7%(令和2年度)	27.5%	38.6%	32.3%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	19,081人	13,052人	16,958人	17,860人
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	84.0%(令和2年度)	92.9%	92.5%	94.7%
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	39.8%(令和2年度)	30.9%	41.0%	42.1%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	72,300人	56,147人	79,783人	77,383人
KPI (指標)	文化スポーツ課所管団体の活動において、直近1年間で研修会等を実施した回数【★】				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	20回	22回	29回	21回

中項目	1 次世代アーティスト・アスリートを育む文化・スポーツ環境の更なる拡充	分野計画参照ページ	P20
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
美術活動推進事業 文化スポーツ課	・10月10日～13日の間に、コミュニティプラザで、市内大学の保育学科の学生と共同でこども展覧会を開催し、1,144点(前年度比+17点)の出展があり、1,391人(前年度比-295人)が来場した。	<p>・前年度に引き続き個人の出展においてLoGoフォームからの申し込みを可能としたこと、QRコードを活用した案内文書の送付と電話による案内も実施したことで、出展数の増加につながった。</p> <p>・来場者減少の要因は、イベントの初日が小学校の運動会と日程かぶったことによるものである。</p>	
音楽活動推進事業 文化スポーツ課	<p>・文化ホールで揖津音楽祭(リトルカメリアコンクール)を開催(予選を9月に本選を12月)し、予選に参加した36組(前年度比-16組)のうち、18組(前年度比±0組)が本選に参加了。来場者は延べ271人(前年度比-94人)であった。また、本選の審査待ち時間にチャレンジコンサートを実施し、7人(前年度比±0人)が参加した。</p> <p>・12～2月にリトルカメリアミニコンサートを小学校9校(前年度比+3校)で実施し、延べ22人(前年度比+11人)が出演した。鑑賞者数は延べ1,310人(前年度比+264人)であった。</p> <p>・12月に文化ホールでフレッシュコンサートを開催し、5人(前年度比±0人)が出演した。来場者数は約220人(前年度比+20人)であった。</p>	<p>・揖津音楽祭(リトルカメリアコンクール)に出場や受賞した音楽家や、市内及び近隣市で活動する音楽家の発表の場として、現在ミニコンサートを実施しているが、実施した学校からは、子どもたちが生の音楽や楽器に触れる機会として好評であり、引き続き実施していく。</p>	
演劇・芸能文化活動推進事業 文化スポーツ課	<p>・ちびっこ劇団「ひなどり」の加入者数は新1年生2人(前々年度比-6人)となつた。</p> <p>・9月15日に文化ホールにてちびっこ劇団「ひなどり」の演劇発表会を行い、311人(前年度比+18人)が来場した。</p> <p>・3月23日に文化ホールにて行われた揖津市民演劇祭にちびっこ劇団「ひなどり」が参加し、330人(前年度比+10人)を動員した。</p>	<p>・令和5年度は新1年生と新2年生を対象に加入案内を行っていたが、令和6年度は新1年生のみを対象に行つたことで、加入者数が大幅に減少した。</p> <p>・ひなどりが令和6年度を以って終了するにあたり、チラシなどで最後の上演となることを契機として観劇を呼びかけたことから、揖津市民演劇祭の動員数が増加した。</p> <p>・ひなどりについて、指導者が高齢のため今後指導することが難しい旨の申し出があったこと、後継者の選定が困難だったことから終了することになった。</p> <p>・ひなどりの代替事業として、文化ホールで実施する参加型のイベントなどを拡充し、引き続き子どもたちをはじめとした市民が文化に触れ合える時代に合った機会作りを提供していく。</p>	
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	<p>・3月8日に第一生命グループ女子陸上競技部OGによる走り方教室を実施し、小学生50人(前年度比-5人)の参加があった。</p> <p>・3月15日に安田理大さんによるサッカー教室を実施し、小学生110人の参加があった。</p>	<p>・走り方教室、サッカー教室共に募集定員があったが、応募者多数で抽選となるほど人気であった。また、こどもたちは、アスリートから走り方やサッカーの技術だけでなく、考え方も教わることができたことが良かった点である。</p>	
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	<p>・「ハッピーヨガ教室」等、10講座(前年度比+3講座)を開催し、延べ1,510人(前年度比+52人)が参加した。</p> <p>・英語教室やフラワー・アレンジメント等、自主事業として文化に関連する講座を開催した。</p>	<p>・講座参加者の増加の要因は、イベント等が地域に定着してきたためと考える。</p>	

公民館講座開催事業 生涯学習課	・市立公民館で活動する子どもたちが日頃の活動の成果を展示・発表する「キッズなかよし発表会」を摂津市民文化ホールで実施し、展示6団体(前年度比±0団体)、発表7団体(前年度比±0団体)が参加した。	・発表団体7団体のうち、ダンス演技は5団体、バレエ演技は2団体であり、ダンスを日頃活動する団体が多い傾向にある。 ・子どもたちが日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである「キッズなかよし発表会」を引き続き実施する。
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	・文化ホールで小学生を対象に、「親子で夢中になる理科実験～ワクワクドキドキを体験しよう！！～」を開催し、97人(前年度比+37人)が参加した。	・令和5年度に1回目をいきいきプラザで実施したが、令和6年度は文化ホールで実施しスケールアップしたことで、参加者数の増加に繋がった。 ・引き続き興味を引く内容を検討し、子どもや若い世代に足を運んでもらえるよう工夫する必要がある。
文化財保護事業 生涯学習課	・摂津市の歴史を後世に伝えるため、コミュニティプラザで「ふるさと摂津講座」を開催し、75人(前年度比+44人)が参加した。	・ふるさと摂津講座は、講座以外に歴史に関するフィールドワークを取り入れたことにより、受講者が増加しているため、今後も継続して実施する。
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	・「運動×防災教室」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計25回(前年度比-18回)開催し、計6,264人(前年度比+1,431人)が参加した。	・講座参加者の増加の要因は、別府地域の団体と協力する等、イベントが地域に定着してきたためと考える。

中項目	2 文化・スポーツを支える人材の育成と団体支援・ノウハウ継承	分野計画参照ページ	P22
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	・団体主催や市との共催イベントを開催し、参加者数や来場者数等は以下のとおりであった。 ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、50人(前年度比-11人)が出席した。来場者数は240人であった(前年度比-30人)。 ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、18組(前年度比+5組)が出演した。来場者数は約300人(前年度比±0人)であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、242人(前年度比+10人)が出席・出展した。来場者数は約800人(前年度比±0人)であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、7組が出演した。来場者数は約100人であった。(前年度比-100人) ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、14組(前年度比-2組)が出演した。来場者数は約170人(前年度比-10人)であった。 ・少林寺拳法、空手、レスリング、テニス、グラウンド・ゴルフ、キンボーリ、チアリーディング、アルティメット、柔道、ゴルフ、ホッケー、野球、スケートボードの大会において、激励金を38件(前年度比+6件)交付した。	・前年の来場者数を下回るイベントが多かった。特にわがままコンサートについては、雨の影響で観客数は伸びなかった。来場者用の駐車場がなく、自転車・歩行の方が多いため雨の影響が特に大きかったと考える。引き続き、イベントナビや市のラインなどのツールも活用し開催周知の促進に努める。 ・天候やイベントの重複等様々な要因が集客に影響し、そのことが団体活動のモチベーションにもつながることから、公共施設の改善など利用しやすい施設を目指し、市として可能な部分のバックアップをして行く必要がある。 ・今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引き続き支援していくことが重要である。 ・コロナ禍で中止となっていた大会等が再開されたこともあり、激励金の申請実績は伸長している。 ・激励金の認知度も高まっており、ホームページや市立の文化・スポーツ施設での掲載効果もあると推測する。	
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	・スポーツ推進委員の1名が初級パラスポーツ指導員の資格を更新した。 ・市のスポーツ推進委員協議会内において、指導員が継続して在籍しており、スポーツ推進委員の主管事業において、障害をお持ちの方が参加された際の対応もスムーズに行うことができた。	・令和6年度に開催されたパリパラリンピックにより、市民にもパラスポーツに対する意識や注目が集まっている。競技者の増加・育成に加え、指導員や審判員の増加を目指して取り組みを継続していく。	

スポーツ振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団指導者講習の一環として、普通救命講習会を実施し、13人(前年度比+1人)が参加した。 ・スポーツ少年団へ大会参加の補助金を通じて、活動を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指導者講習や補助金交付等により、各スポーツ団体の活動を支援していく。
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援講座として、「インスタグラム講座応用編」を開催し、6人が受講した。また、「インボイス制度セミナー」を開催し、10人が受講した。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載するとともに、各施設で市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 ・市民公益活動補助金について、審査委員から物価高騰の影響によって金額の合理性を再検討すべきではないかと意見が付されたことから、近隣他市へ補助金等の調査を実施した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・近隣他市へ市民公益活動補助金について調査した結果、初期事業コースの上限は現行と同じ10万円。初期の段階で費用が必要と思われる所以2年間10万円を補助。補助率は9/10から10/10にする。発展事業コースの上限は30万円(据え置き) ・今後の市民公益活動の支援として、本市にふさわしい中間支援の在り方を検討する必要がある。
こども会育成事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市こども会親善スポーツ大会を開催し、ソフトボールの部6チーム(前年度比±0)、キックベースボールの部2チーム(前年度比±0)が参加し、各部の優勝・準優勝チーム計4チームが三島ブロックこども会親善スポーツ大会に出場した。また、市のスポーツ大会時に、キックベースボール体験会を併せて実施した。 ・地域やこども会などで活動するリーダーを養成する「冒険プログラム」として野外炊飯体験やスノーシューハイキング体験を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市こども会親善スポーツ大会の参加者増加に向け、摂津市こども会育成連絡協議会と連携し、体験会の実施回数を増やしていく必要がある。 ・こども会会員の体験学習の場である「冒険プログラム」を、こども会に所属していない「こどもたち」も対象としたことで、こども会活動を知つてもらう機会を設けることができた。
生涯学習フェスティバル開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・「話そう摂津のこと」をテーマに「生涯学習フェスティバル市民のつどい」を開催し、60人(前年度比+3人)が参加した。 ・大正川河川敷公園を会場に「摂津市生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」を開催し、約800人(前年度比+300人)が来場した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津市生涯学習フェスティバルろうそくファンタジーについては、実施内容と本来の目的に乖離が生じてきていることから、あり方を見直す必要がある。 ・運営団体の自主的な活動を推進するため、「摂津市生涯学習フェスティバル実行委員会」の自立に向けた協議を行っていく必要がある。
せつ生涯学習大学事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・せつ生涯学習大学を全12回開催し、19人(前年度比±0人)が受講した。また、単発受講で計57人(前年度比+8人)が受講した。 ・せつ生涯学習大学院を全3回開催し、3人(前年度比-1人)が受講した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供のため、せつ生涯学習大学を開催する。 ・高齢の受講者が多いため、近隣の大学等と協議し、若者を対象した講座の開設について検討していく必要がある。

中項目	3 企業連携、大学連携による文化スポーツ振興に関する環境整備・人材育成	分野計画参照ページ	P24
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 7月に音楽連盟とルツツ南摂津からなる実行委員会により、ルツツ南摂津（ショッピングモール）でフロアコンサートを開催し、10団体（前年度比±0団体）が出演、チラシを見て集まって来た方や買い物客が鑑賞した。 演劇協会が主管する市民演劇祭の司会者として、大阪人間科学大学の学生を紹介してもらい事業への協力を得た。 摂津市文化連盟及び摂津市音楽連盟の会員に対し、大阪人間科学大学大学祭のホールでの発表に関する出演者や、教室での展示等の出展者について、募集の案内文書を約80通送付した。 団体主催や市との共催イベントを開催し、参加者数や来場者数等は以下のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、50人（前年度比-11人）が出席した。来場者数は240人であった（前年度比-30人天候不良などによる）。 ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、18組（前年度比+5組）が出演した。来場者数は約300人（前年度比±0人）であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、242人（前年度比+10人）が出席・出展した。来場者数は約800人（前年度比±0人）であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、7組が出演した。来場者数は約100人であった。（前年度比-100人） ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、14組（前年度比-2組）が出演した。来場者数は約170人（前年度比-10人）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽連盟が主体となり、民間施設を利用した発表会を実施できた。 大学祭で大学と地域の文化団体とを繋ぎ、地域・学校ぐるみでの摂津市の文化振興を図ることができた。 今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引き続き支援していくことが重要である。 前年の来場者数を下回るイベントが多かった。特にわがままコンサートについては、雨の影響で観客数は伸びなかった。来場者用の駐車場がなく、自転車・徒歩の方が多いため雨の影響が特に大きかったと考える。引き続き、イベントナビや市のラインなどのツールも活用し開催周知の促進に努める。 天候やイベントの重複等様々な要因が集客に影響し、そのことが団体活動のモチベーションにもつながることから、公共施設の改善など利用しやすい施設を目指し、市として可能な部分のバックアップをして行く必要がある。 今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引き続き支援していくことが重要である。 	
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 7月20日に株式会社ガンバ主催による摂津市民応援デーが開催され、摂津市民1,474人が招待された。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も企業等と連携していくことで、スポーツ振興を広げていくことが必要である。 	

分野	教育	施策	文化・スポーツ		
分野計画名称	文化振興計画			行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	4 縦（世代間）・横（地域間）のネットワークの形成				
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	22.7%(令和2年度)	27.5%	38.6%	32.3%
KPI (指標)	文化スポーツ課所管団体の活動において、直近1年間で研修会等を実施した回数【★】				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	20回	22回	29回	21回
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	39.8%(令和2年度)	30.9%	41.0%	42.1%
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	84.0%(令和2年度)	92.9%	92.5%	94.7%
中項目	1 縦（世代間）のネットワークの形成				分野計画参照ページ
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績			分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	・大阪人間科学大学と連携し、学生によるイベントガイドのデザイン・構成を行った。			・カラフルな色彩や版画をモチーフとしたイラストなど、大学生の若く独特な感性でデザインを手掛けたことで、日本文化への敬意を表しつつ、老若男女問わず興味を惹くイベントガイドを作成することができた。 ・多くの情報を集約し紙媒体で発行するためイベントの掲載期間が限定されること、情報の即時性に劣る面があったこと、Web媒体としてイベントナビの運用が始まり浸透してきたことから、令和6年度を以って廃止することとなつた。	

<p>老人福祉センター事業 高齢介護課</p>	<p>○老人福祉センター ・295日開館し、入館者は延べ7,922人(前年度比-350人)であった。 ・老人福祉センター事業として、「高齢者でも初心者向けの英会話を身につけてほしい」というニーズに対応したシニア英会話教室や、多世代交流という趣旨で映画鑑賞会等を実施した。 ○いきいきカレッジ ・せっつ桜苑及びふれあいの里でいきいきカレッジにおいて、一般教養科目及び専門科目等の講義を実施し、計34日開講した。受講者は以下のとおり。 ■せっつ桜苑：健康83人、陶芸71人、音楽129人、美術129人、 スマホ基礎158人、スマホ養成92人 延べ662人(前年度比-109人)うち、新規受講者289人(前年度比-119人) ■ふれあいの里：ものづくり61人、体操200人、パソコンスマホ134人 延べ395人(前年度比+26人)うち、新規受講者85人(前年度比-27人) ・受講要領を2会場と市役所だけでなく、公民館やコミュニティプラザ等の公共施設にも配架、市ホームページ、つながりネットに掲載し、受講要領を閲覧及びダウンロード可能としている。</p>	<p>○老人福祉センター ・利用者の高齢化が進んでおり、定期(毎日)利用者が減少傾向にある。 ・老人福祉センターの新規事業として、利用者のニーズに対応した新たな講座や、多世代交流を目的とした講座やイベントを実施した。効果について検証し、利用者の増加につながるよう内容の充実を検討する。 ○いきいきカレッジ ・受講者の年齢階層は75歳以上が全体の半数以上を占めており、60歳代の受講者は1割以下となっている。受講者募集の広報について、LINE配信等のデジタル媒体を活用し、60歳代の目に触れるよう工夫し受講につなげる。</p>
<p>スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課</p>	<p>・「年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめるスポーツ」として新しく考案されたニュースポーツ(ボッチャ、スティックリング等)の体験会・大会を実施し、世代を問わず、各年代が一緒になって楽しむことができる機会を提供することができ、子どもと高齢者が同じスポーツ・同じルールで競技を楽しむ姿が見られた。</p>	<p>・高齢者の参加が多くみられるが、若年層(~40代)の事業参加割合が少ないため、若年層にニュースポーツの事業開催を周知する機会の創出を行っていく必要がある。</p>
<p>スポーツ振興事業 文化スポーツ課</p>	<p>・9~12月に全11地区の内、8地区が各小学校を会場として地区市民体育祭を開催し、延べ参加者数は7,333人であった。(前年度比+3,063人)</p>	<p>・各地区への開催の可否の調査の際に「開催しない」または「検討中」とした場合の開催の支障となっている課題等があれば記入いただくよう様式を変更し、課題の把握に努めている。多くは、高齢化や実行委員のなり手がいないなどの理由である。理由について確認し、他地区の事例や市の貸出備品を含めた競技の紹介や助言などを行い、全地区での開催を目指して支援していく。</p>

中項目	2 横（地域間）のネットワークの形成	分野計画参照ページ	P26
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
<p>文化振興事業 文化スポーツ課</p>	<p>・8月に尼崎市で開催した摂津圏文化行政連絡協議会において、関係自治体からの議案をもとに、情報交換を行った。(11自治体が出席)</p>	<p>・今後も相互の自治体が抱える課題や情報を共有し、事例を参考にしながら、本市の文化施策の向上に努める。例えば、現在実施している、こども展覧会事業について、他市における開催の状況(運営方法、対象年齢、展示方法など)を知ることで、本市における事業の充実や改善につなげるものである。</p>	
<p>国際交流事業 自治振興課</p>	<p>・摂津市国際交流の各種事業や講座の支援を実施し、参加者等は以下のとおりであった。 ■日本語支援ボランティア養成講座80人(前年度-41人) ■国際理解講座54人(前年度比-30人) ■JICA講演会47人(前年度比+29人)</p>	<p>・各種講座や講演会は外国人市民の有効な支援策であることから継続して実施していく必要がある。 ・国際理解講座は、海外経験の豊富な方の生の声を聞くことができ、異文化を理解できる貴重な場であることから引き続き実施していく。</p>	

都市交流事業 自治振興課	・市外宿泊施設の利用について、8市町と提携し、延べ117人(前年度比-22人)の利用があった。	・事業の見直しにより、令和7年度から廃止。 (廃止理由) 全国伝統地名市町村連絡会議における都市交流事業の一環として実施してきたが、同会議は既に解散している。旅行の補助制度のような状況になっており、都市交流としての意味合いが薄れてきたため廃止した。
-----------------	-------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

分野	教育	施策	文化・スポーツ		
分野計画名称	文化振興計画			行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	5 文化・スポーツ活動を支える環境づくり				
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	19,081人	13,052人	16,958人	17,860人
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	72,300人	56,147人	79,783人	77,383人
KPI (指標)	歴史・文化財に係る講座参加者数（延べ人数）【★】				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	113人	55人	31人	75人
中項目	1 市民の活動を支える施設の管理運営			分野計画参照ページ	P28
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績			分析・考察	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	・文化活動の拠点施設として、次の事業を実施した。(他にも単発の事業有) ■ちびっこ劇団「ひなどり」の発表会観覧者：311人(前年度比+18人) ■落語会観覧者：延べ485人(前年度比-12人) ■囲碁・将棋教室参加者：延べ135人(前年度比-56人) ■囲碁・将棋大会参加者：延べ115人(前年度比+6人) ■市民カラオケ大会参加者：69人(前年度比+3人) ■老人同好会文化祭参加者：67人(前年度比-5人)観覧者：358人(前年度比-135人) ■くすのきキッズフェスタ来場者：765人(7年ぶりに開催) ・文化ホール利用状況(主に団体活動で使用するいきいきプラザ会議室を含む) 利用件数：3,782件、利用者数：71,238人、稼働率33.0%(前年度比：-286件、+1,035人、-2.5%)			・老人同好会文化祭は文化ホール老人同好会の1年の成果を発表する場として開催している。同好会として活動する人数が減少していることに伴い、同文化祭に出る人数、それを見に来る人数も減少している。 ・市民を対象とした教室等の事業については、市民活動に役立つとともに魅力的な内容となるよう他市の事例等を参考とするなど内容の更新や見直しが必要。 ・文化ホール(いきいきプラザ会議室を含む)の施設利用について、利用者数は増加したが、利用件数・稼働率は減少した。立地条件などの割には稼働率はまだまだ低く、引き続き利用しやすい施設整備及び周知に努める必要がある。	

体育施設管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 開放デーとして金曜日の昼の時間帯に36回実施し、1,062人(前年度比+246人)が参加した。 ・パーソナルトレーニングやインボディ体組成測定を実施し、個々人に寄り添った取組みを行った。 ・Instagramや公式LINEといったSNSを導入し、即時にイベントや施設案内を発信・拡散し、市民へ周知した。 ・各種スポーツの競技大会や、運動の習慣化を目的とした定期スクール、ジュニア世代がスポーツを始めるきっかけづくりを目的とした教室を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 開放デーは引き続き行い、これまで利用されていない方にも気軽に体育施設を利用してもらえるよう周知に努め、スポーツに親しむ機会を提供する。 ・様々な層を対象としたイベントや定期スクールを開催することにより、市民の運動意識を高め、体育施設の利用者数の増加を目指す。 ・個人利用については、就学・就業中の方も参加しやすいよう、休日や夜間の枠にするなど検討していく。
温水プール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 温水プールの利用者は次のとおりである。 ■大人：延べ18,518人(前年度比-1,431人) ■高齢者：延べ5,163人(前年度比-452人) ■障害者：延べ0人(前年度比±0人) ■子ども：延べ46,826人(前年度比-3,939人) ■その他(親子・招待)：延べ355人(前年度比-206人) ・学校の夏休み期間等に合わせて月曜日の休館日に無料開放を実施し、985人(前年度比-280人)の利用があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月中旬～12月上旬の間、プールの配管破損により漏水が発生し水泳教室を含め全ての場内プールの利用ができなくなったことから、利用者数は前年度比で減少した。 ・令和6年度は安全上の理由で無料開放で幼児を対象外としたことから、利用者数が減少した。次年度は幼児の利用枠を復活させるために、無料開放枠の見直しを検討する。 ・引き続き無料開放を行い、これまで利用されていない方などにも気軽にプールを利用してもらえるよう周知に努め、スポーツに親しむ機会を提供する。
体育施設維持管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 柳田テニスコートの照明灯のLED化を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> くすの木公園テニスコートの照明灯のLED化に向け、令和7年度中に契約を締結予定である。
コミュニティプラザ管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> エントランスや館内を使用した市・団体のイベント開催の提案サポートを実施している。 ・駅前の立地や市内随一の施設規模を生かし、参加者が多いイベントや講演会の開催場所を提供し、年間稼働率42.5%と高い稼働率を保っている。 ・広報紙や各施設のホームページに加え、SNSで市民活動団体のイベント情報を掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市及び団体が主催するイベントに対し、指定管理者と主催者の間で打ち合わせを行い、安全なイベント開催に向け、主催者に対し使用の提案、サポートを行っている。 ・SNSは定期的に更新できていることから、引き続き継続して投稿を行うことで、フォロワーが増えることを期待している。
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 「運動×防災教室」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計25回(前年度比-18回)開催し、計6,264人(前年度比+1,431人)が参加した。 ・エントランスや館内を使用した市民団体等のイベント開催の提案サポートを実施している。 ・別府コミュニティセンター登録クラブ・自治会等の活動をサポートし、施設のイベント等に参加するよう働きかけることで、横の繋がりを強化することを図った。 ・広報紙や各施設のホームページに加え、SNSの立て上げを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体等が主催するイベントに対し、指定管理者と主催者の間で打ち合わせを行い、安全なイベント開催に向け、主催者に対し使用の提案、サポートを行っている。 ・講座参加者の増加の要因は、別府地域の団体と協力する等イベントが地域に定着してきたためと考える。
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントに関わり、施設の認知度向上に努めた。 ・好立地・指定管理者の持つノウハウにより、吉本興業(株)に所属する芸能人を講師とする目玉講座を開催し、56名の参加と大盛況であった。 ・市民団体のサークル活動・発表会等の場を提供した。 ・旧市民サービスコーナーのスペースに、高齢者が手作りした雑貨やこどもが描いた絵を窓際に飾ることで、集客のきっかけづくりを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率の低い貸室(調理室)の利用促進を図るため、パン教室を開催した。今後においても、若年齢層の利用促進や、親子で参加できる自主事業の企画を指定管理者と協力して取り組む。 ・たそがれコンサート等の地域イベントへの参画を継続することで、施設をPRしていく。
公民館管理事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施した。 ・貸室利用後は清掃や備品の確認を行い、安全安心な施設運営に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館施設において事故等もなく、安全安心な施設運営ができていたと考えられる。 ・引き続き、安全安心な公民館施設の環境づくりを進める。

中項目	2 地域に根付く文化・スポーツ資源の保存と活用		分野計画参照ページ	P30
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
摂津市史編さん事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資料の収集・整理・保存を実施し、累計44,000点の保存を終えた。 『新修摂津市史現代民俗編』第3巻を刊行した。 コミュニティプラザで市史刊行記念講演会を開催し、91人(前回比+26人)が参加した。 コミュニティプラザで歴史講演会を開催し、106人(前回比+15人)が参加した。 令和7年度刊行に向け『新修摂津市史絵図地図・建築・美術工芸編』第4巻の執筆作業を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 保存した資料を適正に管理するため、引き続き整理作業を進める。 市史刊行記念講演会では、聞き取りを行った市民を中心に周知を図るとともに、歴史講演会では、自治会回覧により周知を行うことにより、来場者が増加することとなったが、60代以上で7割以上を占めており、学生・生徒への周知を図る必要がある。 市の各種計画や起案された文書のうち、歴史資料として保存すべき文書を選別する基準について担当課と協議を進める。 		
文化財保護事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 市内文化財保護のため、味舌天満宮本殿(府指定文化財)修繕にかかる補助金を交付した。 旧一津屋公会堂(市指定有形文化財)の建物の現状を把握するため、耐久性等の調査を実施した。また、今後のあり方を検討するため文化関係団体等を対象に、ニーズ調査を実施した。 JR千里丘駅西口再開発に伴う発掘調査の報告書を刊行した。 開発に先立つ立会調査を9件(前年度比+3件)実施した。 摂津市の歴史を後世に伝えるため、コミュニティプラザで「ふるさと摂津講座」を開催し、75人(前年度比+44人)が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き味舌天満宮本殿(府指定文化財)修繕にかかる補助金を交付する。 旧一津屋公会堂の利活用に向け、地元自治会等の関係団体と協議していく必要がある。 文化財関連資料の収蔵・整理・保存を進めるとともに、展示会等で活用を図っていく必要がある。 ふるさと摂津講座は、講座以外に歴史に関するフィールドワークを取り入れたことにより、受講者が増加しているため、今後も継続して実施する。 		
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 摂津ふれあいマラソン大会において、淀川河川敷(鳥飼西地区～鳥飼下地区)をマラソン大会コースとして使用した。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者にとって安心・安全なコースを提供できており、今後も河川敷を活用したコース設定を行う予定である。 		